

水害の際の感染症対策マニュアル
資料編

香川県健康福祉部薬務感染症対策課

目 次

水害時における事後対策・・・・・・・・・・・・・・・・	1.2 ページ
床上浸水の場合	
床下浸水の場合	
災害復興作業時の注意事項	
1) 作業従事者	
2) 一般の方	
薬剤使用方法マニュアル・・・・・・・・・・・・・・・・	3.4.5 ページ
消毒に要する機材・薬剤	
家庭で使いやすい消毒薬とその使い方	
消毒薬の使い方	
加熱による消毒	
水害時における感染症や食中毒予防・・・・・・・・	6 ページ
参 考	
次亜塩素酸ナトリウム薬剤の使用方法・・・・・・・・	7.8 ページ

水害時における事後対策

[床上浸水の場合]

- 1 水が引いた後、家の中の不要なものを片付けてください。
- 2 泥などの汚れを水で洗い流す、雑巾で水拭きするなどしてください。その後消毒液を浸した布などでよく拭いてください。
- 3 食器類や調理器具などは、きれいに汚れを洗い流した後、台所用漂白剤に浸したり、熱湯で消毒してください。
- 4 冷蔵庫や食器棚などは、汚れをきれいに拭き取った後、消毒用アルコールなどで拭き取り消毒してください。
- 5 必要に応じて、家の周囲や床下などの消毒薬または消石灰を散布してください。

[床下浸水の場合]

- 1 床下や家の周囲などにある不要なものや泥などを片付けてください。
- 2 水で流せる場所は、よく汚れを洗い流してください。
- 3 必要に応じて、家の周囲や床下などの消毒薬または消石灰を散布してください。

[災害復興作業時の注意事項]

1) 作業従事者

- 1 衛生管理について
作業による汚れは、いろいろな細菌が混在しているので、感染に気をつけてください。作業終了後は、汚れを流水でよく洗い流しましょう。
特に、汚れた手のままの飲食は避けてください。飲食前は必ず石鹸を使って流水でよく洗ってください。
- 2 消毒薬の使用について
消毒薬を取り扱う際には長袖、長ズボンを着用し、ゴム手袋などを使用し(必要に応じてメガネやマスクを着用)皮膚や目にかからないように注意してください。
- 3 作業中のけがについて
すり傷・きり傷は傷口をきれいな水で洗い流してください。出血が多いようならタオル、布などを当てて圧迫止血し、医療機関で受診してください。
刺し傷は傷口が小さくても奥が深く、細菌が入ると破傷風にかかることが

あります。

小さな異物は拭き取ったり、水で洗い流し、必ず消毒してください。感染を起こす場合があるので、十分消毒できない場合は、医療機関を受診してください。

2) 一般の方

- 1 浸水の後の汚れは、雑菌がいっぱいです。機会のあるごとに石鹼を使ってよく手を洗いましょう。特に、食事、病人の世話、赤ちゃんの世話のときなどは、手洗いを念入りにしましょう。
- 2 食器等の洗いは、水道水を使用してください。
やむなく、井戸水を使用する場合は、煮沸させてから使用してください。
- 3 できるだけ加熱したものを食べましょう。
- 4 栄養をバランスよくとりましょう。
- 5 疲労をさけるため、できるだけ休養をとりましょう。
- 6 作業中にけがをしたときは、傷口が汚れていたら、まず、きれいな水で洗い流しましょう。
- 7 寝られない日々が続くなど、つらいときは、保健所や医療機関で相談するのも健康を回復するひとつの方法です。
- 8 もう一度、見渡して物が落ちたり、倒れそうなところがないか確認しましょう。

手洗いの方法

・石鹼をよく泡立て、手の甲、手のひらから、指の間をていねいに洗っていき、爪の隙間も注意して洗いましょう。

・さらに10秒～15秒以上もみ洗いをし、流水でよく洗い流して、清潔なタオルで手を拭きましょう。

(石鹼で洗ったあと、逆性石けんを使うと効果がある。)

薬剤使用方法マニュアル

1 消毒に要する機材・薬剤

- ・噴霧器、計量カップ、マスク、ゴム手袋、長靴、
- ・次亜塩素酸ナトリウム、塩化ベンザルコニウム(逆性石けん)、クレゾール石けん液、消毒用アルコール(80%)、消石灰(水酸化カルシウム)

消毒薬の抗菌スペクトル

薬 剤 名	一般細菌	結核菌	真菌	芽胞	一般ウイルス
次亜塩素酸ナトリウム					
塩化ベンザルコニウム (逆性石けん)		×		×	×
クレゾール石けん液				×	×
消毒用アルコール				×	

○ : 有効 △ : 効果が弱い場合がある × : 無効

家庭で使いやすい消毒薬とその使い方

《 薬品名、適用対象、使用方法と留意点 》

塩化ベンザルコニウム(逆性石けん)

多くの細菌、真菌に有効。結核菌および大部分のウイルスには無効。

手 指 (0.05~0.1%)	石けんで手洗いし十分すすいだ後、塩化ベンザルコニウム(逆性石けん)を使って手を洗う。 * 一般の石けんと同時に使うと効果がない。
便器、トイレの ドアノブなど (0.05~0.1%)	塩化ベンザルコニウム(逆性石けん)に浸した布で拭き取る。 * ゴム製品、合成樹脂などへの使用は控える。

消毒用アルコール（80%）

多くの細菌、真菌、ウイルスに有効。

手 指	手洗い、脱脂綿やウエットティッシュ等に十分に消毒用アルコールを含ませて拭き、自然乾燥させる。 *手が荒れやすいので注意。
便器、トイレのドアノブなど	手洗い、脱脂綿やウエットティッシュ等に十分に消毒用アルコールを含ませて拭き、自然乾燥させる。表面が十分ぬれる程度に消毒用アルコールを噴霧し、同様に拭き取る。 *ゴム製品、合成樹脂などへの使用は控える。

クレゾール石けん液

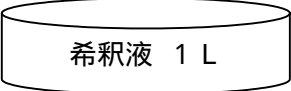
多くの細菌、結核菌に有効。芽胞菌および大部分のウイルスには無効。

屋外、床下	30倍(30ml 1L)に希釈し、噴霧器で散布する。 *有臭であるので注意。
廃棄物(便、尿、痰)	30倍に希釈した液に2時間浸漬後、速やかに廃棄する。 *ゴム製品、合成樹脂などへの使用は控える。

消毒液の作り方

< 塩化ベンザルコニウム（逆性石けん液 10%） > キャップ 1 杯が 5ml

(用 途)	手指の消毒	家具、器具、物品の消毒
(濃 度)	0.05% ~ 0.1%	0.2%
(希釈倍数)	キャップ 1 杯 ~ 2 杯	キャップ 4 杯



<次亜塩素酸ナトリウム 6%> キャップ1杯が約6ml

(用途) 手指の消毒

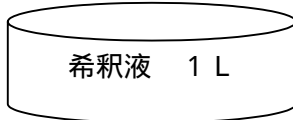
家具、器具、物品の消毒

(濃度) 0.02%

0.06%~0.03%

(希釈倍数) キャップ1/2杯

キャップ2杯弱~1杯弱



加熱による消毒

煮沸：食器、哺乳ビン、乳首

熱湯：包丁、まな板

乾燥機：タオル、衣類

加熱：食品(中心部が75℃で1分以上)

- *消毒薬は、汚れを落としてから。
- *消毒薬の使用温度は室温が効果的
- *消毒薬は、適正な濃度と消毒時間を守る。
- *消毒薬の有効期限を確認する。
- *消毒薬の保管場所に注意
- *小分けして使用する場合は、小分けした容器の表示をする。

水害時における感染症や食中毒予防

水害が発生し、河川などの増水により浸水した地域においては、衛生環境が不良な状態となり、細菌性の下痢などの感染症や食中毒が発生しやすい状況になります。

これらを予防するため、次のことに注意してください。

慢性的な疾患に罹っている人、高齢者、乳幼児は、特に注意してください。また、水害の後片付け等で疲労が蓄積してくると身体の抵抗力も低下することもあるので、注意してください。

十分手洗いを行ってください。特に調理したり、食事をする場合やトイレの後には、石けんで十分手指等の汚れを落としてください。

浸水した調理器具を使う場合は、熱湯などを用いるなどして、消毒してから使用してください。

飲用に適する水を飲んでください。また、浸水した井戸、地下貯水槽は安全を確認して使用してください。

水にぬれた食べ物は、汚染されている恐れがあるので食べないでください。停電した地域において、冷蔵庫に入っている食品(特に要冷蔵食品や要冷凍食品)は食べずに廃棄しましょう。

避難所等で調理された食品は、できるだけ早く食べるようにし、残った場合は廃棄するようにしてください。

発熱、下痢があった場合は、早めに医師の診察を受けましょう。

その他、健康上の相談は最寄りの保健所にお問合せください。

各保健所の連絡先は次のとおりです。

小豆総合事務所(小豆保健所)	TEL 0879 - 62 - 1384
東讃保健福祉事務所(東讃保健所)	TEL 087 - 831 - 1531
中讃保健福祉事務所(中讃保健所)	TEL 0877 - 24 - 9962
西讃保健福祉事務所(西讃保健所)	TEL 0875 - 25 - 2052
高松市保健所・保健予防課	TEL 087 - 839 - 2870
薬務感染症対策課	TEL 087 - 832 - 3303
生活衛生課	TEL 087 - 832 - 3180

(参 考)

次亜塩素酸ナトリウム薬剤の使用法

- 1 有効残留塩素濃度
薬剤 P6 : 6 %
薬剤 P12 : 12 %
- 2 希釈濃度と使用方法

用途	薬剤 P6(6%)の場合		薬剤 P12(12%)の場合		接触時間	使用方法等
	希釈倍数 濃度 (ppm)	水 10L 当 たり薬剤 P6の分量 (ml)	希釈倍数 濃度 (ppm)	水 10L 当 たり薬剤 P12 の分 量 (ml)		
飲料水の消毒 (井戸水、 ため水)	60,000 倍	0.17ml	100,000 倍	0.08ml		水量に対し、遊離残留塩素を 0.1ppm(結合型残留塩素として 0.4ppm)を注入 水道法施行規則第16条
	1.0ppm		1.0ppm			
食品の消毒 (生野菜、 果物)	600 倍	17ml	1,000 倍	8.3ml	10 分 15 分	洗浄、水洗い後、10 数分間浸し、1 ~ 2 回 水洗い。
	102ppm		100ppm			
飲食器具 の消毒 (台所用 品、まな板 茶碗、フキ ンなど)	300 倍	34ml	500 倍	17ml	5 分 10 分	洗浄、水洗い後、数分 間浸漬し、そのまま乾 燥。(塩素臭が強い 時などには水道水で 洗浄) <取扱注意> 金属製品
	204ppm		200ppm			
衣類の消 毒	300 倍	34ml	500 倍	17ml	5 分	よく洗濯したものを 薬剤に浸し、漂白、消 毒、殺菌する。汚れに より濃く(薬剤を増 量)する。 <取扱注意> 色柄物、合成繊維
	204ppm		200ppm			

浴室・浴槽 の消毒	300 倍	34ml	500 倍	17ml	5 分	汚れにより濃く(薬剤 を増量)する。
	204ppm		200ppm		10 分	
便所・便器 の消毒	300 倍	34ml	500 倍	17ml	5 分	汚れにより濃く(薬剤 を増量)する。
	204ppm		200ppm		10 分	
糞便の消 毒	10 倍	1L	20 倍	0.7L		
	0.5%		0.5%			
プー ル 水 の消毒	60,000 倍	0.17ml	100,000 倍	0.08ml		プールの残留塩素濃 度 0.4ppm ~ 1.0ppm を 維持。
	1.0ppm		1.0ppm			